

謹賀新年

新年のごあいさつ

久留米市社会福祉協議会
会長 萩原 重信



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より本会が取り組んでおります地域福祉活動の推進につきましては、ご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、近年の地域福祉を取り巻く状況をみてみますと、社会の変化に伴い、福祉の担い手不足、また地域における支え合いの希薄化などの社会問題が深刻化しています。

このような中、国は、地域

での重層的な支援体制を構築すべく「地域共生社会づくり」を進めようとしていきます。

本会におきましても久留米市とともに「くるめ支え合うプラン」を策定し、現在、そのプランを基にすべての人が住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせるよう、「人と人」、そして「人と社会」がつながり、一人ひとりが役割や生きがいをもって、互いに助け合いながら暮らせる「地域共生社会」の実現に向けて様々な取り組みを進めているところです。

また、近年大規模な自然災害が全国的に頻発しております。久留米市では昨年も、大雨による浸水被害が発生したこと、本会も「災害ボランティアセンター」を設置し、生活環境回復のためのボランティア活動を支援しました。こうしたことから、非常時の助け合いの基盤となります「地域の絆」、あるいは「日常

生活での人と人とのつながり」の重要性が再認識されています。

一方で、今般の新型コロナウイルス感染症の流行により、いわゆる「3密」を避けながら、いかにして人と人とのつながりを確保していくのかなど、コロナ禍での新たな課題にも直面している状況でございます。

このような時だからこそ、私たちもこれまで以上に知恵を出し合い、工夫しながら、人と人との関係性を育み、互いに支え合うことのできる地域社会づくりを推進していくことが求められているものと認識しています。

本年も行政や関係団体、そして住民の皆さまと連携しながら、今後とも地域福祉の積極的な推進を図り、「支え合うこころあふれるまちくるめ」の実現を目指してまいります。

どうぞ本年もなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地域でできるコロナ予防

みんなが安心して地域活動に参加できるように
気をつけるポイントを確認しましょう



マスク着用と手洗いを呼びかけましょう



1時間に2回以上の換気をしましょう



会話や体操をするときは
距離をとりましょう

体温や体調を確認し記録しましょう

机・イス、ドアノブ
などを消毒しましょう



お茶菓子などは
個別包装のものを選びましょう

